

● 部門の特色

基本理念は「患者のQOL改善を目的とした責任ある薬物療法を提供する」である。

この理念に従い、①調剤・製剤・注射・医薬品情報等の業務を行った上で、すべての病棟・部署に薬剤師を配置し、薬物療法に積極的に関与するとともに、入院前から入院中、退院後も含めたシームレスな連携を推進する。②薬剤師職能を発揮しチーム医療において中心的な役割を担えるよう努める。③急性期医療を支援するゼネラリスト及び小児・妊産婦・救急・感染制御・疼痛緩和・代謝疾患・循環器疾患・がん等のスペシャリストを育成する。

この3つの基本方針のもと、薬剤部長1名、副薬剤部長2名、主任薬剤師6名、薬剤師24名、アシスタント6名が以下の業務を中心に行っている。

1. 入院患者やご家族への薬学的管理(病棟薬剤業務実施加算関連業務、薬剤管理指導業務、薬剤情報提供業務)
2. 医薬品の適正使用の促進
3. 副作用報告(安全性情報)の収集・周知、厚生労働省への報告(HOSP-net の医薬品情報システムの利用、リスクマネジメントへの取り組み)
4. 院内製剤・無菌製剤(IVH、抗がん剤)への取り組みの充実
5. 治験及び臨床研究の対応
6. スペシャリスト育成のため各種研修会や学会への参加、発表及び講演
7. 大学薬学部との共同研究の推進、及び卒業論文の指導
8. 保険薬局との地域連携の強化

● 認定資格取得状況(2020年4月1日)(金川病院含む)

- がん専門薬剤師(2名)(日本医療薬学会)
- がん指導薬剤師(1名)(日本医療薬学会)
- 妊婦・授乳婦専門薬剤師(2名)(日本病院薬剤師会)
- 日病薬病院薬学認定薬剤師(4名)(日本病院薬剤師会)
- NST専門療養士(1名)(日本静脈経腸栄養学会)
- 日本糖尿病療養指導士(2名)(認定機構)
- 小児薬物療法認定薬剤師(2名)(日本薬剤師研修センター)
- 認定実務実習指導薬剤師(10名)(日本薬剤師研修センター)
- スポーツファーマシスト(2名)(日本アンチ・ドーピング機構)
- 骨粗しょう症マネージャー(1名)(日本骨粗鬆症学会)

● 薬学教育

- 薬学生早期臨床体験受入れ(半日) 8名
- 実務実習生受入れ(11週間) 9名(薬学部5年生)
- 薬学部学生のアドバンス教育実習(就実大学) 1名
- 薬剤師のインターンシップ 13名
- 小児薬物療法認定制度必須実務研修受け入れ(1日) 9名

● 業務実績(年間)

	処方箋枚数	院内	院外
外来	調剤	9,991枚	88,373枚 (発行率: 89.8%)
	注射	38,376枚	
入院	調剤	155,566枚	
	注射	247,170枚	

外来	薬剤情報提供料	19,290回
	がん患者指導人数	99人
	がん患者指導管理料/請求件数	764件
入院	医薬品鑑別人数	400人
	薬剤管理指導料	
	指導人数	15,753人
	請求件数	22,924件
	麻薬管理指導加算	475件
	入院(持参薬)鑑別件数	10,982件

医薬品情報	a) CoMedixの更新・伝達	109件/年
	b) 医薬品安全性情報報告件数(厚生労働省への報告)	0件/年
	c) DIニュース発行件数	5件/年

院内製剤・ 無菌製剤	TPN調製件数	1,987件
	抗がん剤調製件数 外来	5,177件
	入院	6,324件
	無菌製剤処理料1請求件数	7,899件
	無菌製剤処理料2請求件数	1,837件
	外来化学療法加算請求件数	3,802件

医薬品管理		全体	内服薬	外用薬	注射薬
	全品目数	1,810品目	828品目	265品目	717品目
	後発医薬品数	466品目	242品目	60品目	164品目
	後発医薬品比率	67.40%	68.40%	49.60%	75.90%
	品目割合				
	数量割合	85.60%	86.40%	76.60%	85.90%

治験薬管理	治験・製造販売後臨床試験	実施プロトコル数	36件
		実施症例数(新規)	47件
	製造販売後調査 (使用成績調査・特定使用成績調査)等	新規受託課題数	27件

● 研究業績

1. 学会、研究会

1) 薬薬連携研修会へのシミュレーション教育の導入

古賀 和馬、田頭 尚士、吉田 昭昌、山本 宏

第2回日本臨床薬剤師シミュレーション教育研究会 2019年6月15日

2) 実務実習の標準化を目指して～国立病院機構中国四国グループ緩和ケア研究会の挑戦～

小野 友香、中国四国地区国立病院薬剤師会 緩和ケア研究会

第13回日本緩和医療薬学会年会 2019年6月1日

- 3) 終末期乳がん患者の呼吸困難にヒドロモルフォンが著効した1例
三嶋 美穂
日本緩和医療学会 第2回中国・四国支部学術大会 2019年8月30日
- 4) 多職種連携による合併症に対する薬剤相談の取り組み
上野 杏菜、中村 和恵、影山 操、多田 克彦 2019年9月14日
- 5) NICU、GCU 病棟入院症例におけるバンコマイシンの血中濃度に影響を与える因子に関する検討
星島 祐美子、上野 杏菜、平澤 裕美子、田頭 尚士、山本 宏、影山 操
第29回日本医療薬学会年会 2019年11月3日
- 6) 抗がん剤曝露対策における全抗がん剤への閉鎖式調製器具導入の効果
田頭 尚士、田坂 友紀、串田 康弘、吉田 昭昌、山本 宏
第29回日本医療薬学会年会 2019年11月3日
- 7) 血糖自己測定器変更による薬剤師の取り組みと見えてきたもの
谷 聡美、吉田 昭昌、山本 宏、天田 雅文、肥田 和之
第8回くすりと糖尿病学会 2019年9月7日
- 8) プレフィルド型インスリンデバイス新規導入糖尿病患者における使用感のアンケート調査
佐藤 祐里、金子 玲美、谷 聡美、吉田 昭昌、山本 宏、天田 雅文、肥田 和之
第8回くすりと糖尿病学会 2019年9月7日
- 9) Weekly GLP-1 受容体作動薬デュラグルチドの服薬アドヒアランスについて
金子 玲美、谷 聡美、吉田 昭昌、山本 宏、天田 雅文、肥田 和之
第8回くすりと糖尿病学会 2019年9月7日
- 10) ダラツムマブ投与におけるインフュージョンリアクションの出現状況の解析
田頭 尚士、木村 紗弥佳、山本 宏、角南 一貴
第57回日本癌治療学会学術集会 2019年10月24日
- 11) 発注業務の効率化をめざして
西山 温子、田頭 尚士、大山 裕紀子、若狭 愛子、谷 聡美、小野 友香、平澤 裕美子、田坂 友紀、華山 博子、高橋 洋子、吉田 昭昌、山本 宏
第57回中国四国地区国立病院薬学研究会 2019年9月7日
- 12) 医療費削減効果を目的とした便秘治療薬の使用実績調査
甲斐 夢花、串田 康弘、高麗 睦子、田頭 尚士、華山 博子、高橋 洋子、吉田 昭昌、山本 宏
第57回中国四国地区国立病院薬学研究会 2019年9月7日

2. 講演

- 1) AYA世代のがん薬物療法において薬剤師ができること
田坂 友紀
東北周産期薬剤師研修会 2019年9月21日
- 2) 血液腫瘍における薬物療法について
田頭 尚士
第58回岡山県病院薬剤師会 がん薬物療法研究会 2019年4月20日
- 3) エリブリンの有効性と安全性に影響を与える因子の検討
田頭 尚士
第5回乳がんチーム医療研究会 in 瀬戸内 2019年6月1日